

# 北に恵めし

(昭和五十八年新寮記念寮歌)

大崎益孝君 作歌  
竹中秀文君 作曲

## 一

北に恵めし若き日の夢  
いつかは壊れゆくものか  
すがしき朝の光と風は  
原始の森に消え去りぬ  
今こそ我も旅立ちの時  
心の宿よいざさらば

## 二

北の原野を流離い行けば  
淡き花影さゆらぎぬ  
今も変らぬその涼風に  
昔の光偲はずや  
流れる雲に孤り謳えば  
果てなく夢は何処までも

## 三

北を望みし岬に立てば  
うち寄す波は静かなり  
されど遙けき今樺太の  
色めく空を憂い眺ん  
功利し多きこの人の世に  
誠の迪を貫かん